

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成28年10月20日(2016.10.20)

【公表番号】特表2015-526571(P2015-526571A)

【公表日】平成27年9月10日(2015.9.10)

【年通号数】公開・登録公報2015-057

【出願番号】特願2015-528908(P2015-528908)

【国際特許分類】

C 08 G 77/62 (2006.01)

【F I】

C 08 G 77/62

【手続補正書】

【提出日】平成28年9月2日(2016.9.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0036

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0036】

特に好ましくは、該式において、R'、R''及びR***が水素であり、かつ、R'、R''、R*、R**及びR²がメチルであり、R³が(トリエトキシシリル)プロピルであり、かつ、R¹がアルキル又は水素である、化合物である。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0062

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0062】

例10

90gのK₂ONHTT 1800及び210gのTHFを仕込み、0℃に冷却する。激しい攪拌下において、450mgのTBAFが溶解した15mLのTHFを60分以内に計量添加する。0℃で60分攪拌後、20℃に加熱し、それから、50mLのTHF中の300mgのCa(BH₄)₂で反応を停止させる。THFを留去した後、1,650g/molのM_wを有するワックス状の固形物質があとに残る。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0063

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0063】

比較例1

4Lフラスコ中で、300gのTHFを600gのK₂ONML 33と混合する。114mLのTHFで希釈したTBAFの1M溶液6mLを30以内に計量添加し、その後一晩にわたり攪拌する。ろ過及び溶媒の留去後、不溶性かつ非溶融性の固形物質があとに残る。